光る"けんせつ小町"

土建業界に女性進出・環境改善が奏功

5年で60人増 鍵握る優遇策

建築・土木業界で働く女性（愛称・けんせつ小町）が鹿児島県内で増えつつある。機械化が進み、女性の就業機会が広がり、業界も人材難から女性が働きやすい環境づくりに心を砕く。女性技術者の一層の雇用拡大に向け、入札での優遇など行政の後押しを求める声が上がる。

のり面の工事現場で測量する萩原遥さん＝5月31日、鹿児島市伊敷7丁目

鹿児島市の急傾斜地崩壊対策工事の現場。「もう少し右に寄ってください」。有迫組（同市）の萩原遥さん(21)が測量機器をのぞきながら、同僚男性に立ち位置を指示した。

萩原さんは3年前、鹿児島工業高校の建設技術系を卒業し、親の勧めもあって業界に飛び込んだ。社員約30人の同社で初の女性技術者だ。「何もなかった所に道路ができるなど、工事が進む過程を見ていると感動する」と語る。

高校時代に習得した測量や設計ソフトの操作技術を生かし、入社以来、即戦力として活躍する。取引先との打ち合わせや現場で安全巡視の業務にもあたる。

「男性でないと働けないという固定観念にとらわれていた」と久永義治社長(57)。「公共工事では詳細な記録の提出が求められ、細かい作業を着実にこなす女性の能力が発揮できる」と話し、今後も女性の採用に前向きな考えを示す。

□■□

「女性でも建設業界で働けるということをもっと多くの人に知ってもらいたい」。こう話すのは、田島組（本社・薩摩川内市）の田島麻美さん(43)。

一定規模以上の工事現場に専任で配置される「監理技術者」の資格を持ち、県内女性技術者の先駆的存在だ。

「近年、現場で女性の姿を見る回数が増えた」と言う。

事実、業界で活躍する女性は徐々に増えている。県建設業協会によると、会員企業753社で働く女性技術者は265人（2016年2月末時点）。全従業員に占める割合は2%に満たないが、5年前に比べ60人増加している。

鹿児島工業高等専門学校（霧島市）の都市環境デザイン工学科は今春、過去10年で最多となる17人の女子生徒が入学した。池田正利教授(60)は「耐震など防災への関心が高まったことや、ものづくりに魅力を感じて入学する女子生徒が多い」と語る。

□■□

女性技術者を雇う企業は、現場に専用トイレや更衣室を設置するなど、働きやすい職場づくりに努めている。

グループ会社を含め女性5人を雇用する森建設（鹿児島市）は2年前、「こまち会」を結成した。女性同士で悩みを話し合えるようにし、他社の女性との交流も目的にする。肥後誠常務(61)は「女性の業界に対するイメージアップを図り、人材確保と定着を目指したい」と狙いを語る。

女性の採用に力を入れるのは、深刻な人手不足が背景にある。鹿児島労働局によると、県内の建築・土木・測量技術者の4月常用有効求人倍率は4・03倍と、全平均の1・02倍を大きく上回る。過去5年間、平均より2倍以上高い状態が続く。

国土交通省は14年度、人材難解消と女性の就労増の両立を目指し、女性技能者を現場に配置した場合、国発注の土木工事の入札で優遇する制度をスタート。本年度は工事成績の加点対象を、現場代理人や交通誘導員まで拡大した。

一方、県レベルで同様の取り組みはない。森建設の肥後常務は「女性の雇用に特化した助成制度や、県でも入札の優遇を進めてほしい。女性の建設業界進出が一般的になるまでは、行政の何らかの支援が必要だ」と訴える。

（藤崎優祐）

特報@鹿児島

新区割り 自民固まる

1区保岡氏 2区金子氏 3区小里氏 4区森山氏

衆院鹿県選挙区 宮路氏は比例へ

衆院の「1票の格差」是正に伴い、鹿児島県の小選挙区の定数が5から4に減る次期衆院選で、現3区を地盤とする自民の宮路拓馬氏(37)＝比例九州＝が、比例単独での立候補を受け入れる意向であることが3日分かった。

現職5人がいる自民県連の立候補予定者は、新1区保岡興治氏(78)＝現1区▽新2区金子万寿夫氏(70)＝現2区▽新3区小里泰弘氏(58)＝現4区▽新4区森山裕氏(72)＝現5区＝で事実上決まった。

自民県連は今後、公認候補となる新選挙区の各支部長を決める会合を開き、正式に決定する。

宮路氏は前回選挙で現3区から立候補し、無所属の野間健氏(58)に敗れ、比例で復活当選した。区割り改定案によると、現3区は南北に分割され、日置市以北と、霧島市を除く現4区を統合し、新3区となる。現4区選出の小里氏が新3区から立候補する意向を表明し、宮路氏の動向が注目されていた。

宮路氏は3日、取材に対し、新3区から立候補しないと言明。小里氏と競合することや自身が前回現3区で落選したことを理由に挙げ、「やむを得ない面がある」と語った。

ただ、比例での立候補について「確実に当選できる名簿順位でなければ受け入れられない」と話した。

自民県連は10日の定期大会で、次期衆院選で現職5人全員の当選を目指し、比例単独に回る1人が名簿順位の上位になるよう決議する。

（小野智弘）

日曜随想 朝の文箱

便利の中の不便

子

今回朝の文箱への執筆のお話をいただいて、恐縮しつつ思い悩んだが故郷へ手紙を書く思いでつづってみようとお受けすることにした。

4月末に1回目の拙文を投稿させていただいたがこの作業中に思いがけない災難に見舞われてしまった。原稿の締め切りが間近に迫って、焦り始めた頃に

可能性もあると言うので翌日検査と修理に出した。

途中まで書いた原稿はパソコ

い。思うように筆が進まない。「書く」ことは仕事の一環で毎日対応していて、慣れている。だが、手で書くことはほとんどない。添削や簡単なメモを書き込む程度で、主なツールはパソコンである。紙面に長文を書くことが難しくなっていることに改めて気付いて、がくぜんとした。

最後に誰かに手紙を書いたのはいつだっただろうか。もう何年も連絡はほとんどメールだ。世界のどこにいても瞬時に多くの人と交信できて、情報も検索

て、途方に暮れるという始末。

便利の中の不便。

1936年に製作されたチャールズ・チャップリンの代表作の一つ「モダン・タイムス」は機械文明を猛烈に批判し、個人の尊厳への警鐘を鳴らしてい

つでできることの可能性が限られてきてしまっているような気がする。

パソコンのキーボードをたたく代わりに文字を書いていて、手書きの文字の力を再確認した。文字には書く人が現れる。以前から、印刷された年賀状や暑中見舞い等の季節のあいさつ状には必ず手書きで一言添える

軽になった。だが簡単な分、希薄であやふやにも思える。だから、そこはひと手間かけてみたいと思う。

修理に出していたパソコンが戻り、この原稿もキーボードをたたきながら書いている。デジタルとアナログのバランスを取ることの必要性を痛感しながら、鹿児島の母に手紙を書こう

鹿児島国際大学 同窓会のお知らせ

（高商・経専・商大・経大・鹿短大・鹿国大短大部）

日時 平成29年6月10日(土)

●総会 17時30分～ ●懇親会 18時30分～

場所 城山観光ホテル エメラルドホール

会費 六、〇〇〇円(税込)

同窓会長 稲葉 直幸

南風録

「銀鱗（ぎんりん）」といえば、魚の美称である。日を浴びて輝くうろこを指す場合もあり、こちらの方がなじみが深い。今頃であれば、アユを思い浮かべる向きもあろう▼鹿児島県内の主な河川でアユ漁が解禁されたのを受け、おととい清流が多い霧島市を訪ねた。いくつもの流れが谷筋を下り、豊かな田園をつくり出している。その光景はすがすがしい▼早朝、霧島川の岸に足を運ぶと、さおを操る釣り人の姿があった。今年は水温が低く、遡上（そじょう）も少なかったことなどから魚影は濃くないという。それでも身を躍らせるように動き回るアユを見れば、こちらも元気が出てくるから不思議だ▼アユの表記も面白い。「鮎」が一般的だが、「香魚」も通りがいい。ウリのような、あの独特の香気に触れた先人は強い印象を持ったのだろう。通常1年の寿命という「年魚」はずばり分かりやすい。ちなみに中国では「鮎」はナマズのことである▼アユ好きには旬の味がたまらない。カルシウムやビタミン類が豊富らしい。塩焼きにすると、ほのかな甘みがある。せごしにして酢みそでいただくのもいい。アユ飯も上品な味わいがある一品だ▼九州南部も間もなく梅雨入りの時期だ。湿気でむしむしする日が多かろう。こんなときこそ初夏を告げるアユの出番である。歳時記にあった句に思わず膝を打った。〈鮎食うて体に風を通しけり〉（井山淑子）。

《2017・6・4》

地点	朝	昼	夜	夜 最高/最低	あす	あす 最高/最低
鹿児島	0	0	0	29/18	10	29/18
伊佐	0	0	0	31/13	10	30/[illegible]
出水	0	0	0	26/[illegible]	10	28/[illegible]
薩摩川内	0	0	0	29/15	10	30/[illegible]
枕崎	0	0	0	27/[illegible]	10	28/[illegible]
国分	0	0	0	27/13	10	26/13
鹿屋	0	0	0	28/[illegible]	[illegible]	28/15
西之表	0	0	0	27/[illegible]	10	26/19
名瀬	0	10	10	28/[illegible]	30	29/[illegible]
沖永良部	0	10	10	27/20	30	27/23
都城	0	0	0	30/[illegible]	10	29/15

下数字は降水確率(%) 最高気温(℃) 最低気温(℃)

桜島の風向 午後 2m 海上 1m の波

4日9時の予想図